

《山木屋地区町政懇談会》

年月日 令和7年10月30日（木）
時間 午後6時30分～午後8時
場所 山木屋公民館ホール
町民出席者数 7名

- ① 開会：副町長（内容省略）
- ② 町長あいさつ（内容省略）
- ③ 出席者紹介
- ④ 懇談会
 - （1） 事前質問に対する回答
 - （2） 政策等に対する意見交換

質問1 山木屋に自宅と土地はあるが、住んでいない方が多く山木屋に戻る気持ちがない方も多く、遊休資産を売れば売りたい人が増えてくる。また、業者が土地を買い占めていると聞く。町で自然と環境を守る条例を策定してほしい。

【町長】

回答1 固定資産がかかるから売りたい方がいるのは、把握しているところ。そうして買われた土地が、産業廃棄物処分場にならないような条例の制定などを進める。

質問2 不在住民の方が草刈りにしか山木屋に来ない。高齢になると通えなくなり、後継者もいない。手入れをしないと雑木林になってしまう。ヒュッテファームも高齢になって山木屋地区全体が荒れた山になる前に、山に戻さない対策が何か必要。

【町長】

回答2 営農再開している方が5年間で10名いる。後継者に引継ぐ窓口を開設しているので相談してほしい。

質問3 町外から転入者があるが、余生を送る人ばかり。子育て支援ではなく公的支援出合いの場作りが必要では。

【町長】

回答3 20代から40代の転入者が7割いらして、町外からの移住者に対する支援金の交付などを行っているところ。

【生涯学習課長】

回答3 補足 出合いの場の創出について川俣町単独で行っている、ふれあい交流事業は町内企業に勤めている20～30代の方に企画を考えていただき、婚活の業者の方にも入ってもらい11月9日に恋カフェを開催。福島県でも、婚活支援サイト「はび福なび」を立ち上げ情報を提供。県北地区でも年3回くらい事業に取り組んでいるので、色々と情報を共有していただければと思いますので、よろしくお願いたします。

質問4 今年、山木屋小学校が再開したが、山木屋地区ではない児童が通っている。小学校と同じ日に山木屋自治会でも学校のグラウンドで運動会を開催したが地区の方とは別に離れた所で学校の運動会を開催していた。地元としては、震災前のように一緒に学校行事にも取り組んでいきたい。自治体側から「一緒にやろう」と声をかけたら「からかわないで下さい」と学校側から言われた。

【教育長】

回答4 学校は、復興の拠点と考えているところ。山木屋の学校が再開し、教育方針などで町内の児童がスクールバスを利用し小学生が3名、中学生5名の合計8名が通っている。山木屋にゆかりのある学生は今現在、山木屋には通ってはおらず川俣小学校へ通っているところ。地域の意思を学校側に伝えたいと思う。

【町長】

回答4 医療機関と学校は失くさないでほしいというのが地域の要望。川俣高校も全国募集をかけているので、迎える側も他の地区の方を受け入れる寛容性が必要とこれからはなってくると考える。

質問4 補足 運動会、文化祭で子供たちの様子を知りたいと思っても、交流や会話もない。子供の顔を見ても親の顔も知らないので、一緒に過ごしていても楽しくない。学校で発表会が見れたので、交流は全くないということではない。花植えにしても、応援する大人の数が多く、開かれた学校にしたいのであれば、もう少し方法があるのではないか。

【保健福祉課長】

補足4 回答 障害福祉計画の中でも、親子さん10人いたら10通りと記載している。関わらないことも、見守りと考えている。

質問5 街中でどこかの母親が「子供がいじめられて登校拒否をしている。山木屋には通わせたくない」と話しているのを聞いた。町内にそうした話があるのが事実。山木屋住人としては、そうした話を残念に思う。

【教育長】

回答5 今朝の新聞にも、不登校の記事が載っていた。

質問6 農業をしたい移住者に、経営も斡旋しているのか。果樹は、1年を通して引継がないと収入にならない。農業経営をそっくり他の方へ、引継ぐ手法はないか。

【農林振興課長】

回答6 新規就農はスマイルファームで従事している。農地バンクは、補助事業があるので係まで問い合わせしてほしい。経営の斡旋については、県と協議してみる。

質問7 山木屋地区でデマンドタクシーを利用している方は、どれくらいいるのか。山木屋地区で一人暮らしの方は、どのくらいいるのか。

【保健福祉課長】

回答7 高齢者の一人暮らしは、民生委員の方が把握している「福祉票」に基づいて

いる。

【政策推進課長】

回答7 デマンドタクシーの山木屋地区利用者は、令和6年の年間で1,908人。

⑤ 閉会あいさつ：教育長（内容省略）